豊後高田市ソフトボール協会広報誌 （No.8）

平成29年9月20日　　　　　　豊後高田市ソフトボール協会事務局

豊後高田支部協会の広報誌は、大分県ソフトボール協会→支部協会コーナーで閲覧できます

日本リーグの舞台で

本年度リーグ審判員として、三重県伊勢市大会、福岡県北九州大会に参加してきました。

各大会での出来事をお知らせします。

三重大会（５／２６～２８）

三重大会では５試合担当しました球審２試合では２部ですがりーグの投手のコントロールの良さに感心しました。１回の表裏で投手は球審のストライクゾーンを探ってきます。このゾーンが回を進むにつれてぶれてくると、クレームが増します。このことがリーグのレべル、選び抜かれた選手たちの力と感じました。多彩な変化球の見分けなど集中した時間が続きます。試合開始時は審判員の紹介を一人一人行ってくれます。選手に拍手で迎えられます。実はこの時が一番緊張し、同時に鳥肌が立ちました。プレーボールの後は不思議と緊張は解け、りーグの舞台を楽しむことが出来ました。天気にも恵まれ環境の良い中でジャッジをさせていただきました。

50th JAPAN WOMEN'S
SOFTBALL 2017 LEAGUE
50
2nd Division
第50回 日本女子ソフト

福岡大会（９／１～３）

福岡大会ではグランドをつくるスタッフが元各地の理事長で１種審判員ということを聞きました。黙々と私たちのためにグランドを造っていただく姿に選手も私たちも頭が下がりました。大会があるたびに駆けつけてくれるそうです。リーグの上位、下位のチームの力差も三重大会の時より均衡し白熱したゲームが展開されました。いずれの大会も適所でよく見てジヤッジを行うことの大切さを感じました。動き負けしない感覚です。実はイニングの合間にグランドに出たときカウントを示す時の腕の位置を見知らぬ人から、ほめていただきました。プレーヤー、見ている人にもわかりやすいジヤッジを改めて意識させられました。少しは余裕が出来たかなと思いました。いずれも謙虚に取り組んでいきたいと思います。

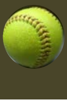
ひびきコスモス運動場　8面取れる

１０／７．８一部リーグ大分大会に地元審判員として参加させていただきます。２年前けがでお世話になったリハビリの先生を球場に招待します。元気になった姿と元気な選手を見ていただきたいと思います。

日本リーグがやってくる

第５０回日本女子ソフトボール１部リーグ第８節大分大会　参加チーム４チーム

10/7（土）　10時から　日本精工−太陽誘電　12時30分から　シオノギ製薬−太陽誘電
　　　　　　15時から　　シオノギ製薬−デンソー
10/8（日）　10時から　デンソー−太陽誘電　12時30分から　デンソー−日本精工
　　　　　　15時から　シオノギ製薬−日本精工



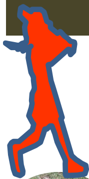
福岡大会の出来事

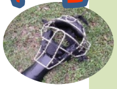
９／２の第３試合　ＮＥＣ対日本ウェルネスとの試合開始前、両チームキヤプテンとラインナップカードの交換を行うときＮＥＣのキヤプテン　和田美樹さんが持ってきました。

思えば約６年前、日本リーグの大分大会の時に、審判になりたての私はスタンドで観戦していました。試合前のファンサービスでサイン入りのボールが選手の手で投げ入れました。遠くで見ながらふと後ろの席からボールが転がり落ちてきました。そのボールはＮＥＣ　和田美樹とサインしていました。今も大事に持っています。

今、こうしてリーグ審判員として、二部ですが同じ場所に立てたことが不思議な巡り合わせとなり感概深いものがありました。サインボールを手にしたときは、考えもしないことでした。

この試合で和田さんは一番バッターで長打を連発し、チームを引っ張っていました。ＮＥＣはここまで全勝。このままいけば来シーズンは１部での戦いが待っています。特に女子の選手寿命は短く入れ替わりも激しいですが、こうして頑張っている選手を審判員として、ファンとして「見守っていきたい」と思います。





豊後高田支部
谷口昭徳